

病者は卒業したところ

午後一時 視察士のあかしのりやうし

9 声に いそいで玄関をアケに行つた

必死から 申告をしてもアツていふ掛

三十年に存ると言つていふ

三十年家は けたりいていふ

年内 がす多い 仕事にアお小していふのかま

くれやう

六十 ~~六~~ のころ 脳硬塞がたふれてしまつた

よく 在あゆむ と きこりれど

エ⁷ ビ⁷ を 取あうようには ⁷ んがレ⁷ したふれ

ア⁷ し⁷ まう⁷ のに ぶどろいてしまつた

それ ⁷ エ⁷ まう⁷ が⁷ け⁷ に

脊骨神経痛 肋間神経痛 肩をり

遠隔神経失調⁷ く⁷ ひ⁷ の 血管の 鼓動

い⁷ ん⁷ 子⁷ し⁷ ん⁷ 蓄膿症⁷ と

命に 関係する⁷ ニ⁷ と⁷ を あれこれやつて 来た

現在 存⁷ 在⁷ ニ⁷ と⁷ も⁷ や⁷ く⁷ ち⁷ じ⁷ し⁷ て⁷ り⁷ 。

去⁷ 大⁷ ス⁷ ト⁷ レ⁷ ス⁷ に⁷ よ⁷ り⁷ 。

出⁷ に⁷ さ⁷ さ⁷ れ⁷ た⁷ よ⁷ う⁷ に⁷ 赤くアワツたと

じんきんしんかぶ

そのが一週間たつと消えてしまふ

子と母の距離

これは健康のうちと思つてい

ふんとなく

病者は不安しあつたり

あつと卒業までの間の

2624
3/13